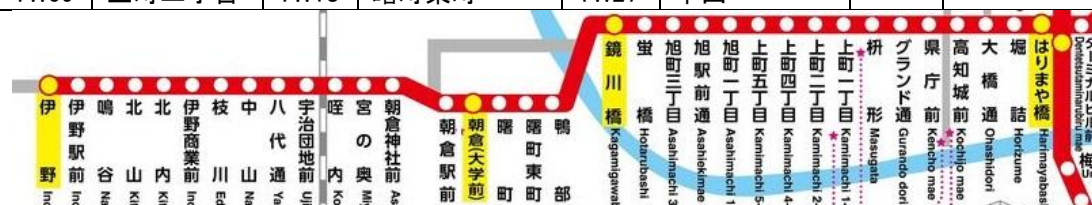


ジオロジー鉄道の旅 伊野編（その1）

南 寿宏

とさでん交通伊野線 停留所コード一覧(南寿宏・私案)					
TW01	はりまや橋	TW10	上町四丁目	TW19	曙町
TW02	堀詰	TW11	上町五丁目	TW20	朝倉(大学前)
TW03	大橋通	TW12	旭町一丁目	TW21	朝倉駅前
TW04	高知城前	TW13	旭駅前通	TW22	朝倉神社前
TW05	県庁前	TW14	旭町三丁目	TW23	宮の奥
TW06	グランド通	TW15	蛭橋	TW24	蛭内
TW07	枅形	TW16	鏡川橋	TW25	宇治団地前
TW08	上町一丁目	TW17	鴨部	TW26	八代通
TW09	上町二丁目	TW18	曙町東町	TW27	中山



0 はじめに

とさでん交通伊野線は、はりまや橋から伊野までの全長 11.2km の路線である。途中の鏡川橋までは複線、そこから伊野までは単線である。

単線区間では、鴨部電停西・朝倉電停・八代通電停西の3か所で列車交換（すれ違い）が可能だったが、諸事情（コロナによる乗客減少等）により 2021 年 1 月にダイヤ改正、八代通電停西の交換が廃止された。

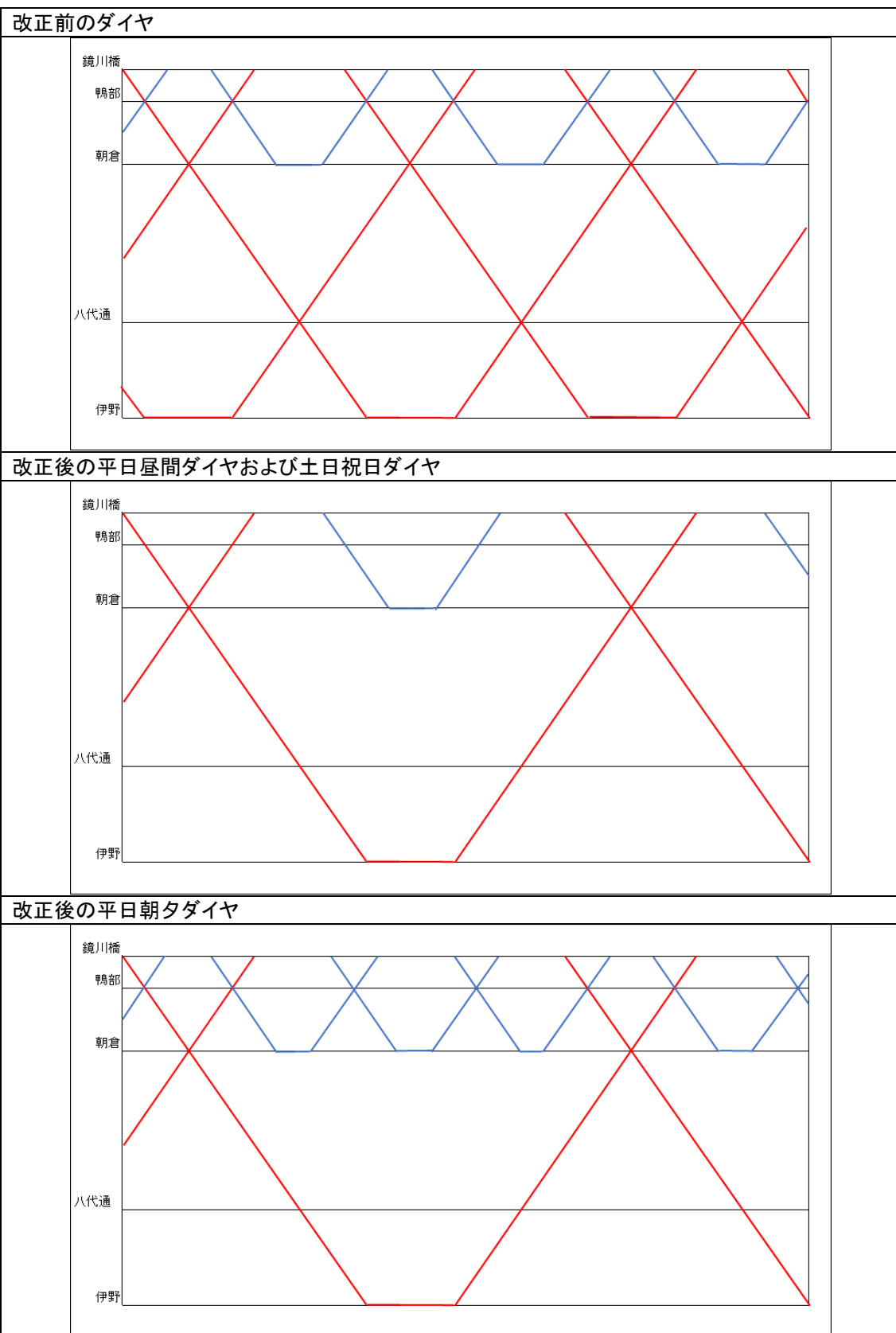
その結果、現行の 21 分ヘッドダイヤが 42 分ヘッドとなった。

伊野線廃止もささやかれているので、この伊野線による地質見学会がペンディングになる可能性がある。

ダイヤ改正前後のダイヤパターン作成したので、右ページに示す。赤線は伊野発着、青線は朝倉発着を表している。

改正前ダイヤ	改正後の平日昼間ダイヤ および土日祝日ダイヤ	改正後の平日朝タダイヤ
伊野行は 21 分間隔。朝倉、八代通で列車交換。八代通では、全国的にめずらしいタブレット交換が見られる。 朝倉行は伊野行の 8 分後発車、鴨部で伊野発車と交換の後、朝倉終点。7 分後発車、鴨部で伊野行電車と交換。	伊野行電車を半減。伊野行は終日 42 分間隔。朝倉で列車交換、朝倉・伊野間は一閉塞区間。 朝倉行は 42 分間隔、列車交換なし。	伊野行電車を半減。伊野行は終日 42 分間隔。朝倉で列車交換。 朝倉行は 42 分間に 3 本運転で鴨部交換。鏡川橋・朝倉間は限界に近いネットダイヤ。

このように、伊野発着電車はダイヤ改正で半減しており、巡検計画の立て方が困難になっている。1 か所の見学が 42 分となるので、ご注意を。



1 TW34 伊野

伊野線の終点。線路は複線あるが、使用しているのは北側のみ。

電停の北側の電車の留置線は廃止され、接続部は撤去された。そのため、伊野行最終電車は、蛍橋電停横の車庫まで運行。

なお、留置線部分は、パークアンドライドの駐車場になっている。



仁淀川は、三波川帯、秩父帯、そして四万十帯を横切って流れているので、河原の岩石は多様である。電停から西へ10分ほど歩くと、仁淀川に到着する。JRの鉄橋が目印である。観察地点は秩父帯であり、四万十帯の岩石は含まれないが、それでも、様々な岩石が観察できる。運がよければ、石鎚・面河のもみじ石の入った花こう岩が見つかるかも知れない。三波川帯の結晶片岩もきれいである。

伊野での滞在時間は50分弱。河原までの往復を考えると時間が少ないが、しっかり観察してほしい。

2 TW33 伊野駅前

伊野電停からわずか100mにある。JR線との乗り換えが便利。

2013年公開の映画『県庁おもてなし課』の撮影地であり、聖地巡礼ファンには見逃せない。ホームには、うっすら足型が残されており、錦戸亮君と堀北真希さんの真似をするのも一興か。



上は映画「県庁おもてなし課」の一場面(You Tube より、画面のハードコピー)

下はとさでん交通伊野駅前電停(2022/2/19 南寿宏撮影)

線路の北の山は黒瀬川構造帯を挟在する伊野層。黒瀬川構造帯および伊野層については、次項(TW28 枝川電停)で詳述する。

3 TW28 枝川

枝川電停は、高知県運転免許センターの最寄り。J R枝川駅も近い。



STOP① 宇治川呑呑雨水貯留施設

電停から西に 300m ほどいくと、宇治川橋がある。宇治川は流れが緩く、大雨が降るとたびたび氾濫した。そこで 1991 年、建設省(現国土交通省)高知工事事務所と伊野町(現いの町)が協同で設置したのがこの施設である。

旧建設省のHPから引用する。

建設省は、これまでに河川改修や宇治川ポンプ場の建設等を行い、治水施設の整備を図ってきましたが、まだまだ、立ち遅れている状況にあります。今後は、なお一層の治水施設整備を促進するとともに、流域開発による洪水流出量の増大を極力抑制し、河川流域の持っている保水・遊水機能の維持に努めることが重要となっています。呑呑雨水貯留施設は、建設省と伊野町の協同事業で、宇治川と伊野商業高校校庭の地下に貯水槽(縦 50m、横 150m、高さ 3.5m)を設け、宇治川の水位が高い時は「貯水槽」に雨水をドンドン(呑呑)溜め、宇治川の水位が下がった後で、宇治川にポンプでドンドン排水することにより、宇治川周辺の内水被害を軽減、防止するためのものです。また、従前宇治川でありました貯水槽の上は、伊野商業高校の校庭として使用できるため、土地の有効利用が図られます。

建設省高知工事事務所・伊野町



吸・排水口を東から眺める(2022/2/19 南寿宏撮影)
奥は高知県立伊野商業高等学校

STOP② 伊野層蛇紋岩体

電停のすぐ東の道を 400m ほど北に入ると見える、青い岩石の露頭が蛇紋岩である。地層は、黒瀬川構造帯。



蛇紋岩露頭(2022/2/19 南寿宏撮影)
ラーメン店横の駐車場の裏手に見える

蛇紋岩(ジャモンガン)serpentinite

蛇紋石を主成分とする岩石で、通常、多少の磁鉄鉱・クロム鉄鉱等を含む。肉眼で黒～暗緑色を呈し炭酸塩の細かい網状脈を伴うことがある。かんらん岩が水と反応して生成され、約 600°C 以下の温度条件で、Mg に富んだかんらん石・輝石が熱水による変質作用や広域変成作用により蛇紋石に変化してできる。(以下略)

[松久幸敬・前川寛和・平野英雄, 地学団体研究会編 新版地学事典]

黒瀬川構造帯

四国中央部の黒瀬川構造帯は東西方向に細長く帯状に分布し、北側からⅠ帯～Ⅳ帯に区分される。(中略)Ⅲ帯は塚ノ原から宗安寺へのび、宗安寺―枝川間では数帯に複雑に分岐して妹背にいたる。この帯には塚ノ原レンズ状部、宗安寺・枝川レンズ状部、妹背レンズ状部などがある。伊野北方の榎およびその周辺の蛇紋岩中の珪質片岩の岩塊から、日本で初めてホウイナイトが報告された。

宗安寺・枝川レンズ状部

おもにしま状角閃岩(寺野変成岩類)からなり、少量の黒雲母片麻岩(寺野変成岩類)・花こう岩類(三滝火成岩類)を伴う。この帯の蛇紋岩は曹長石―緑れん石角閃岩相に属する塩基性・泥質・砂質片岩の岩塊を含む。(中略)この白雲母の K-Ar 年代は 31Ma である。

伊野層

Ⅰ帯とⅡ帯のあいだ・Ⅱ帯とⅢ帯のあいだには伊野層が分布しており、黒瀬川構造帯の構成員のひとつと考えられている

岩相

主に緑色岩・泥質岩からなり、チャート・石灰岩を伴うメランジである。緑色岩には変成作用を受けたものと、ほとんど非変成のものがある。(後略)

形成年代

この変成岩に含まれる白雲母の K-Ar 年代は 352-394Ma である。ほとんど非変成の緑色岩類に伴われる石灰岩は、石炭紀古世～ペルム紀新世のコノドント化石を含む。足立(1989)は伊野層に含まれるマール礫から、三畳紀新世の放散虫化石を見出した。

[吉倉紳一, 日本の地質 8 四国地方 共立出版]

(伊野編 続く)